

岩田家三代のガラス芸術

新宿区弁天町に住んでいた岩田藤七、久利の親子は日本のガラス芸術のパイオニアとして知られています。それまでガラス工芸と呼ぶべきものがなかった日本に、豊かな色と華麗な形のガラスの世界を作り上げました。当館では新宿ゆかりの芸術家である藤七・久利親子の作品を所蔵し、これまでも所蔵資料展などで紹介してまいりましたが、令和元年、新たに岩田ガラスの関係者から、岩田藤七の作品8点、久利の作品10点、久利の妻糸子の作品27点、その他の関連資料合計80点余が寄贈されました。さらに、久利、糸子の長女でガラス造形作家イワタルリの作品も所蔵し、岩田家三代のガラス作品が揃いました。これらの作品を当館初公開します。



岩田 藤七

IWATA, Toshichi (1893 ~ 1980)

東京日本橋に呉服商岩田藤七(初代)の長男として生まれる。7歳の時に父藤七が死去したため、二代目藤七を襲名する。18歳の時から牛込弁天町(現新宿区弁天町)幽霊坂隣りに在住する。同年白馬会洋画研究所で岡田三郎助に師事する。この時、岡田から工芸の道に進むよう助言を受け、後に、ガラス工芸を勧められる。19歳で東京美術学校(現東京芸術大学)金工科入学、25歳で卒業、西洋画科に再入学。西洋画科では佐伯祐三と同級だった。26歳で彫刻家竹内久一の長女(邦子)と結婚。30歳で西洋学科卒業。橘ガラスも経営していた今村銀行頭取今村繁三(中村彝のパトロン)の知己を得て、ガラスの製造を学んだ。昭和2年、34歳で色ガラスによる作品の制作を始める。翌昭和3年、第9回帝展に「吹込みルビー色硝子銀花器」を出品し特選となる。以後帝展では3回連続特選となる。昭和10年、上野松坂屋、日本橋高島屋などで個展を開催。色彩豊かで流動的な作品は高い評価を受け、ガラスを「日本の美術工芸」に導く。日本芸術院会員。文化功労者。生涯に5000の作品を制作。



岩田 糸子

IWATA, Itoko (1922 ~ 2008)

旧三井物産最後の社長となる山本正男の長女として大連に生まれる。少女時代はロンドンで過ごす。昭和4年日本に戻り、落合、矢来町(ともに現新宿区)に住む。昭和18年牛込区役所に就職。昭和24年岩田久利と結婚。昭和33年、義父・藤七と夫・久利がともに病に伏すと、

岩田ガラスの窯の火を絶やさないために、独力でガラス作品を作り始める。自由な発想と女性らしいセンスで、独自の技法を生み出し、新鮮な花器やガラスの和食器、ガラス照明器具などを発表し大ヒットする。また、国際的な交流も積極的に進め、日本のガラス工芸を世界に知らしめる。

会期 令和4年4月16日(土)~5月29日(日)
午前9時30分~午後5時30分(入館は5時まで)

休館日 4月11日(月)・4月25日(月)、
5月9日(月)・23日(月)

会場 新宿区立新宿歴史博物館 地下1階 企画展示室

主催 公益財団法人新宿未来創造財団

問合せ 新宿歴史博物館 03-3359-2131

観覧料 無料



新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum
Tel.03-3359-2131 / Fax.03-3359-5036
指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団



岩田 久利

IWATA, Hisatoshi (1925 ~ 1994)

岩田藤七・くにの長男として、牛込弁天町に生まれる。市谷尋常小学校卒業、大久保にあった私立高千穂中学入学。この頃デザインや洋画を父の大学時代の同級生伊藤熹朔、父の恩師和田三造から学ぶ。軍部に対して反抗し、文学青年的不良少年になる。18歳で東京美術学校(現東京芸術大学)工芸部図案科入学。この頃豊島区長崎のアトリエ村に住む。隣に長沢節があり、生涯交友を結ぶ。23歳で東京工業大学窯業科硝子研究室で研究生として指導を受ける。父から技術的なことは習わなかった。昭和23年、岩田硝子製造所に入社。ガラス工芸作品の制作を開始。翌昭和24年、日展初出品初入選。26歳で東京美術学校図案科卒業。昭和28年、岩田工芸硝子株式会社(岩田硝子製造所より社名変更)社長に就任。昭和47年、日本ガラス工芸協会初代会長。昭和57年、毎日芸術賞、日本芸術院賞受賞。平成6年、勲四等旭日小綬賞。



イワタルリ

IWATA, Ruri (1951 ~)

岩田久利、糸子の長女として新宿区弁天町に生まれる。祖父・藤七によって、ガラスを表わす瑠璃にちなんで、ルリと名付けられる。昭和50年、ガラス制作開始。昭和52年東京芸術大学大学院鍍金科卒業。昭和64年、第14回吉田五十八賞受賞(建築関連美術部門)平成10年サントリー美術館大賞受賞。日常使いのガラスの器から、ガラスを金属や麻繩といった異素材と組み合わせた大型の彫刻作品まで多様な作品作りをしている。



□ JR 東京メトロ丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」下車……徒歩10分
□ 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」下車……………徒歩8分
□ 都営地下鉄新宿線「曙橋駅」下車……………徒歩8分

指定管理者：公益財団法人新宿未来創造財団 <https://www.regasu-shinjuku.or.jp/rekihaku/>